

平成 2 7 年 度

第2回 嬉野市国民健康保険運営協議会資料

日 時 平成28年2月24日（水） 14:00～

場 所 塩田保健センター 2階会議室

国民健康保険運営協議会次第

1 開 会

2 市長挨拶

3 会長挨拶

4 会議録署名委員の指名

- ・ 保 険 医 代 表

- ・ 被 保 険 者 代 表

5 議 題

第1号 平成28年度 嬉野市国民健康保険特別会計予算（案）について

第2号 平成27年度の国民健康保険の状況について

第3号 国民健康保険を取り巻く情勢について

6 そ の 他

7 閉 会

嬉野市国民健康保険運営協議会委員名簿

任 期 平成26年 4月 1日

平成28年 3月31日

区 分	委 員 氏 名	備 考
公 益 代 表	久 我 尊 義	識 見 を 有 す る 者
	古 河 夕 力 子	識 見 を 有 す る 者
	犬 尾 敦 弘	識 見 を 有 す る 者
	城 野 幹 丈	税 理 士
保 險 医 代 表	田 中 研 一	医 師 会
	西 村 進	医 師 会
	栗 山 和 久	歯 科 医 師 会
	古 賀 正 章	歯 科 医 師 会
被 保 險 者 代 表	池 田 勝 佐	被 保 險 者
	藤 山 直 子	被 保 險 者
	藤 田 達 美	商 工 会 代 表
	松 本 龍 生	民 生 児 童 委 員

議 事 録 署 名 委 員

区 分	署 名 委 員
保 險 医 代 表	委 員
被 保 險 者 代 表	委 員

【議題第1号】

平成28年度 嬉野市国民健康保険
特別会計予算(案)について

平成28年度嬉野市国民健康保険特別会計 歳入予算(案)

(単位:千円)

科 目		歳 入			当初比較
		平成28年度 当初(案)	平成27年度 当初	平成27年度 3月補正後見込	
国民健康保険税 一般(現年度分)	医療分	467,959	474,736	474,736	△ 6,777
	後期高齢支援金分	107,753	108,606	108,606	△ 853
	介護納付金分	53,715	56,212	56,212	△ 2,497
国民健康保険税 一般(滞納繰越分)	医療分	30,000	30,000	179,474	0
	後期高齢支援金分	5,000	5,000	33,107	0
	介護納付金分	4,000	4,000	23,698	0
国民健康保険税 退職(現年度分)	医療分	21,840	25,028	25,028	△ 3,188
	後期高齢支援金分	4,803	5,636	5,636	△ 833
	介護納付金分	5,297	6,011	6,011	△ 714
国民健康保険税 退職(滞納繰越分)	医療分	2,000	2,000	2,000	0
	後期高齢支援金分	200	200	200	0
	介護納付金分	300	300	300	0
	小 計	702,867	717,729	915,008	△ 14,862
手数料		400	400	400	0
国庫支出金	療養給付費等負担金	764,985	707,441	766,043	57,544
	“(過年度分)	1	1	1	0
	高額医療費共同事業負担金	28,828	28,008	23,969	820
	特定健康診査等負担金	4,153	4,444	4,444	△ 291
	“(過年度分)		0	0	0
	普通財政調整交付金	457,150	326,885	472,878	130,265
	特別財政調整交付金	60,000	60,000	60,000	0
	小計	1,315,117	1,126,779	1,327,335	188,338
療養給付費交付金	療養給付費等交付金	124,262	181,076	161,745	△ 56,814
	療養給付費等交付金(過年度分)	1	1	1	0
前期高齢者交付金	前期高齢者交付金	764,398	764,678	764,398	△ 280
	前期高齢者交付金(過年度分)	0	0	0	0
県支出金	高額医療費共同事業負担金	28,828	28,008	23,969	820
	特定健康診査等負担金	4,153	4,444	4,444	△ 291
	“(過年度分)	0	0	97	0
	県調整交付金	225,152	208,968	225,450	16,184
	小計	258,133	241,420	253,960	16,713
共同事業交付金	高額医療費共同事業交付金	115,315	112,035	112,035	3,280
	保険財政共同安定化事業交付金	998,481	975,428	975,428	23,053
財産収入	利子及び配当金	1	1	1	0
一般会計繰入金	保険基盤安定繰入金	191,693	149,722	191,692	41,971
	職員給与等繰入金	51,496	51,107	51,015	389
	出産育児一時金繰入金	9,800	11,200	10,080	△ 1,400
	財政安定化支援事業繰入金	56,259	60,451	56,259	△ 4,192
	その他繰入金	2,616	2,173	2,615	443
	赤字補填	0	0	100,000	0
基金繰入金	保険給付費基金繰入金	0	0	0	0
繰越金	療養給付費等交付金繰越金	1	1	1	0
	その他繰越金	1	1	1	0
諸収入	延滞金	1,501	501	1,601	1,000
雑入	一般 第三者納付金	2,000	2,000	2,000	0
	退職 第三者納付金	100	100	100	0
	一般 返納金	263	100	263	163
	退職 返納金	1	1	1	0
	雑入	101	151	151	△ 50
合 計		4,594,807	4,397,055	4,926,090	197,752

平成28年度嬉野市国民健康保険特別会計 歳出予算(案)

(単位:千円)

科 目		歳 出			当初比較
		平成28年度 当初(案)	平成27年度 当初	平成27年度 3月補正後見込	
総務費	一般管理費	42,246	40,733	41,878	1,513
	連合会負担金	1,880	1,880	1,880	0
	賦課徴収費	4,156	4,156	3,885	0
	運営協議会費	206	206	120	0
	医療費適正化特別対策事業費	3,408	4,532	3,652	△ 1,124
	小計	51,896	51,507	51,415	389
保険給付費一般分	療養給付費	2,325,720	2,163,239	2,342,730	162,481
	療養費	18,857	18,775	14,874	82
	高額療養費	344,930	312,486	340,732	32,444
	高額介護合算療養費	200	250	250	△ 50
	移送費	1	1	1	0
	小計	2,689,708	2,494,751	2,698,587	194,957
保険給付費退職分	療養給付費	87,893	121,032	128,574	△ 33,139
	療養費	799	624	942	175
	高額療養費	18,992	21,043	19,672	△ 2,051
	高額介護合算療養費	40	40	40	0
	移送費	1	1	1	0
	小計	107,725	142,740	149,229	△ 35,015
審査支払手数料	審査支払手数料	8,385	8,386	8,080	△ 1
出産育児一時金	出産育児一時金	14,700	16,800	15,120	△ 2,100
葬祭費	葬祭費	750	750	750	0
後期高齢者支援金	後期高齢者支援金	389,400	388,743	389,400	657
	事務費拠出金	32	35	28	△ 3
前期高齢者納付金	前期高齢者納付金	224	186	224	38
	事務費拠出金	30	35	28	△ 5
老人保健拠出金	医療費拠出金	1	300	0	△ 299
	事務費拠出金	20	20	18	0
介護納付金	介護納付金	171,500	166,317	165,922	5,183
共同事業拠出金	高額医療費共同事業医療費拠出金	115,317	112,037	112,037	3,280
	保険財政共同安定化事業拠出金	998,483	967,563	967,563	30,920
	その他共同事業	1	1	1	0
保健事業費	特定健診等事業費	21,142	20,863	20,863	279
	保健事業	10,452	10,680	10,430	△ 228
基金積立金	保険給付費基金積立金	0	0	0	0
公債費	利子	137	137	137	0
諸支出金	保険税還付金	4,900	5,200	5,200	△ 300
	国庫支出金償還金	1	1	27,911	0
	医療給付費交付金償還金	1	1	2,113	0
	一般会計保健事業等繰出金	2	2	5,798	0
予備費	予備費	10,000	10,000	10,000	0
前年度繰上充用金	前年度繰上充用金			285,236	0
合 計		4,594,807	4,397,055	4,926,090	197,752

【議題第2号】

平成27年度の国民健康保険の状況について

平成27年度嬉野市国民健康保険の状況

療養費等の状況

一 般	療養の給付			療養費			高額療養費
	件数	費用額	保険者負担分	件数	費用額	保険者負担分	
3月診療分	10,483	253,977,892	185,457,079	187	2,047,501	1,470,859	24,283,008
4月診療分	10,457	251,305,052	183,858,121	184	1,867,032	1,357,954	25,853,329
5月診療分	10,029	243,123,634	177,590,866	200	1,639,417	1,205,525	26,012,746
6月診療分	10,420	252,877,036	184,414,883	206	1,754,739	1,282,099	26,401,457
7月診療分	10,487	260,843,976	190,503,717	202	1,737,171	1,268,534	28,114,369
8月診療分	10,233	257,409,755	187,389,429	195	1,652,342	1,206,796	28,593,357
9月診療分	10,105	279,691,808	204,735,818	205	1,939,383	1,415,943	27,078,665
10月診療分	10,858	277,973,063	203,510,656	194	1,525,947	1,124,980	34,102,991

被保険者の状況

	世帯数	人数	うち一般費被保険者数	うち退職被保険者数
H27.3月末	4,048	7,321	6,939	382
4月末	4,052	7,330	6,966	364
5月末	4,034	7,290	6,936	354
6月末	4,025	7,229	6,883	346
7月末	4,026	7,226	6,900	326
8月末	4,016	7,200	6,885	315
9月末	4,009	7,173	6,867	306
10月末	4,012	7,164	6,854	310
11月末	3,992	7,135	6,839	296
12月末	3,974	7,079	6,789	290
1月末	3,957	7,046	6,760	286

退 職	療養の給付			療養費			高額療養費
	件数	費用額	保険者負担分	件数	費用額	保険者負担分	
3月診療分	632	13,839,112	9,674,017	12	101,204	70,842	3,631,863
4月診療分	606	11,655,010	8,145,770	12	103,892	72,724	1,210,598
5月診療分	597	10,937,722	7,646,021	13	128,708	90,094	1,067,984
6月診療分	583	10,588,510	7,404,068	12	122,295	85,606	978,170
7月診療分	537	12,837,646	8,969,796	11	140,128	98,087	841,710
8月診療分	552	9,575,230	6,692,454	9	85,043	59,530	1,646,229
9月診療分	668	17,083,890	11,967,994	10	85,379	59,763	606,545
10月診療分	534	12,417,636	8,688,515	10	87,065	60,943	2,294,406

平成26年度嬉野市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導の実施に関する報告

(法定報告値)

I 特定健康診査実施状況の概要

1. 実施期間 平成26年7月1日～8月30日
平成26年10月14日～10月31日（未受診者健診として追加実施）
2. 受診形態 個別健診（県内の特定健診実施医療機関にて）
3. 対象者数 4,949人
4. 受診者数 1,942人
（ヘルスサポート事業利用者 239人、人間・脳ドック健診受診者 88人、
検査結果提出者15人を含む）
5. 受診率 39.2%

表1 特定健康診査の受診状況（年齢別・性別）

	対象者数（人）			受診者数(人)			受診率（%）		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体
40歳代	334	273	607	47	46	93	14.1	16.8	15.3
50歳代	506	423	929	105	138	243	20.8	32.6	26.2
60歳代	1,082	1,180	2,262	384	571	955	35.5	48.4	42.2
70～74歳	494	657	1,151	239	412	651	48.4	62.7	56.6
全体	2,416	2,533	4,949	775	1,167	1,942	32.1	46.1	39.2

II 特定健康診査結果

1. 男女別有所見割合

	男性		女性	
1位	血糖異常（HbA1c5.6以上）	71.7%	血糖異常（HbA1c5.6以上）	81.2%
2位	腹囲	51.6%	脂質異常（LDLコレステロール高値）	57.0%
3位	血圧異常（収縮期）	43.2%	血圧異常（収縮期）	42.1%
4位	脂質異常（LDLコレステロール高値）	41.3%	腹囲	22.1%

2. 心電図検査

特定健診受診者の37.4%が受診。そのうち『異常あり』が39.5%（要精密・治療者が7.7%）だった。

III 特定保健指導対象者数と利用者数

特定健診受診者のうち、特定保健指導の対象者となった者の割合は10.3%であり、そのうち特定保健指導の初回面接を終了した者の割合は62.5%で、終了者は55.5%である。（表2）

表2 特定保健指導対象者数と利用者数

	動機づけ支援	積極的支援	合計
保健指導対象者数	156人	44人	200人
初回面接終了者数(実施率)	105人(67.3%)	20人(45.5%)	125人(62.5%)
終了者数(実施率)	93人(59.6%)	18人(40.9%)	111人(55.5%)

平成27年度嬉野市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導の実施に関する報告

(平成28年2月3日現在速報値^{※1)})

I 特定健康診査実施状況の概要

1. 実施期間 平成27年7月1日～8月31日
平成27年10月15日～10月31日(未受診者健診として追加実施)
2. 受診形態 個別健診(県内の特定健診実施医療機関にて)
3. 対象者数^{※1)} 4,906人
4. 受診者数^{※1)} 1,937人
(ヘルスサポート事業利用者 258人、人間・脳ドック健診受診者 65人、
検査結果提出者 23人を含む)
5. 受診率^{※1)} 39.5%

II 特定健康診査結果

1. 男女別有所見割合

	男性		女性	
1位	血糖異常(HbA1c5.6以上)	72.7%	血糖異常(HbA1c5.6以上)	82.6%
2位	腹囲	51.2%	脂質異常(LDLコレステロール高値)	51.1%
3位	血圧異常(収縮期)	48.8%	血圧異常(収縮期)	42.4%
4位	脂質異常(LDLコレステロール高値)	38.6%	BMI	21.2%

2. 心電図検査

特定健診受診者の40.6%が受診。そのうち『異常あり』が41.0%(要精密・治療者が4.3%)だった。

III 特定保健指導対象者数と利用者数

特定健診受診者のうち、特定保健指導の対象者となった者の割合は8.5%であり、そのうち特定保健指導の初回面接を終了した者の割合は66.7%である。(表2)

表2 特定保健指導対象者数と利用者数

	動機づけ支援	積極的支援	合計
保健指導対象者数	125人	40人	165人
初回面接終了者数(実施率)	88人(70.4%)	22人(55.0%)	110人(66.7%)

【議題第3号】

国保を取り巻く情勢について

国民健康保険税の課税限度額の見直し及び低所得者に係る国民健康保険税の軽減判定所得の見直し

(国民健康保険税)

1. 大綱の概要

国民健康保険税の基礎課税額等に係る課税限度額について、

- ① 基礎課税額に係る課税限度額を54万円（現行52万円）に引き上げる。
- ② 後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を19万円（現行17万円）に引き上げる。

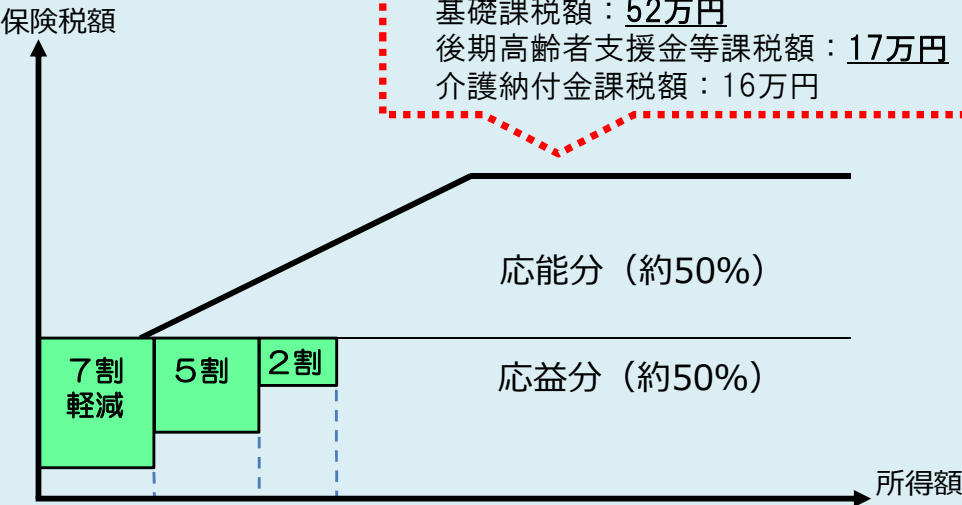
また、国民健康保険税の減額の対象となる所得の基準について、

- ① 5割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定において被保険者の数に乗すべき金額を26.5万円（現行26万円）に引き上げる。
- ② 2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定において被保険者の数に乗すべき金額を48万円（現行47万円）に引き上げる。

2. 制度の内容

<現行>

■ 課税限度額（現行）
基礎課税額：52万円
後期高齢者支援金等課税額：17万円
介護納付金課税額：16万円

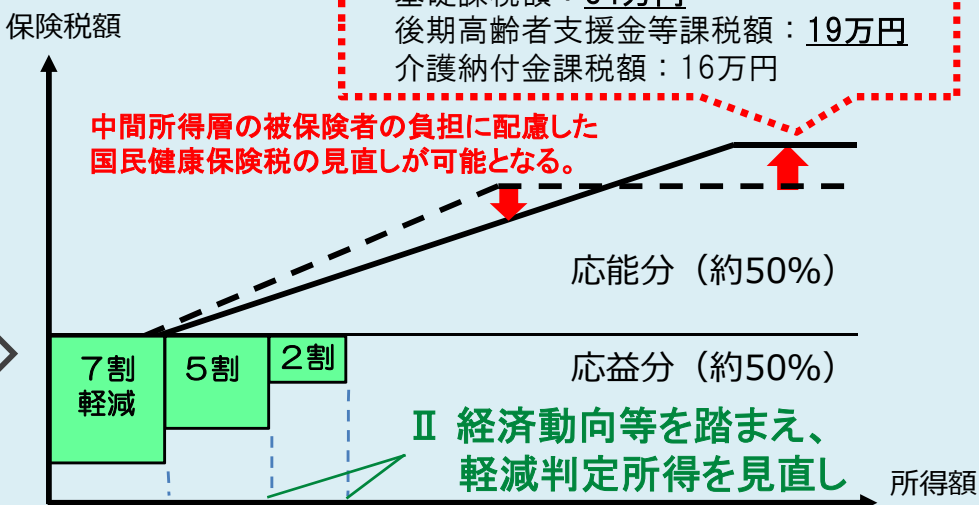


【現行】 軽減判定所得
7割軽減基準額＝基礎控除額(33万円)
5割軽減基準額
＝基礎控除額(33万円)＋26万円×(被保険者数*)
2割軽減基準額
＝基礎控除額(33万円)＋47万円×(被保険者数*)

<改正後>

I 課税限度額の見直し

■ 課税限度額（改正後）
基礎課税額：54万円
後期高齢者支援金等課税額：19万円
介護納付金課税額：16万円



【改正後】 軽減判定所得
7割軽減基準額＝基礎控除額(33万円)
5割軽減基準額
＝基礎控除額(33万円)＋26.5万円×(被保険者数*)
2割軽減基準額
＝基礎控除額(33万円)＋48万円×(被保険者数*)

* 被保険者数には、同じ世帯の中で国民健康保険の被保険者から後期高齢者医療の被保険者に移行した者を含む。

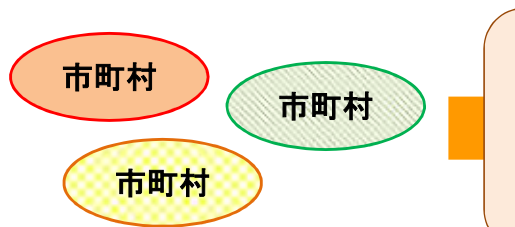
国民健康保険の改革による制度の安定化（運営の在り方の見直し）

○平成30年度から、都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度を安定化

- ・給付費に必要な費用は、全額、都道府県が市町村に交付
- ・将来的な保険料負担の平準化を進めるため、都道府県は、市町村ごとの標準保険料率を提示（標準的な住民負担の見える化）
- ・都道府県は、国保の運営方針を定め、市町村の事務の効率化・広域化等を推進

○市町村は、地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課・徴収、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担う

【現行】市町村が個別に運営



- ・国の財政支援の拡充
- ・都道府県が、国保の運営に中心的役割を果たす

（構造的な課題）

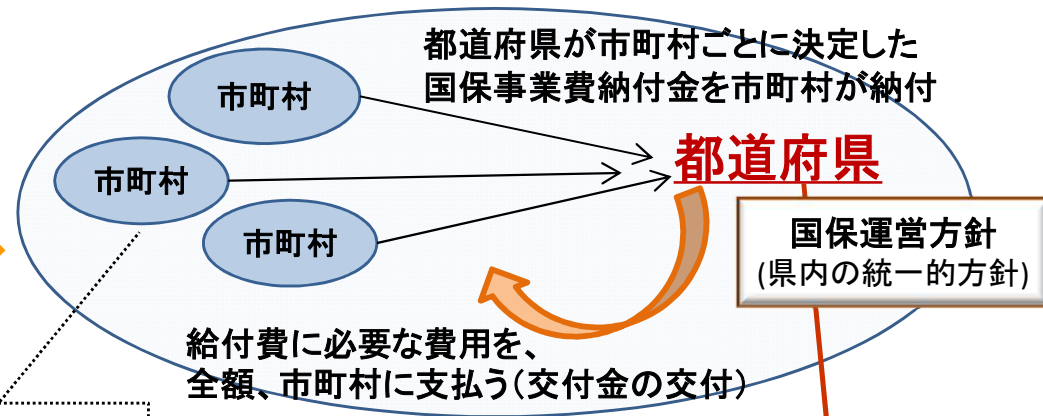
- ・年齢が高く医療費水準が高い
- ・低所得者が多い
- ・小規模保険者が多い

- ・資格管理（被保険者証等の発行）
- ・保険料率の決定、賦課・徴収
- ・保険給付
- ・保健事業

※被保険者証は都道府県名のもの
※保険料率は市町村ごとに決定
※事務の標準化、効率化、広域化を進める

○ 詳細については、引き続き、地方との協議を進める

【改革後】都道府県が財政運営責任を担うなど中心的役割



- ・財政運営責任（提供体制と双方に責任発揮）
- ・市町村ごとの納付金を決定
市町村ごとの医療費水準、所得水準を考慮することが基本
- ・市町村ごとの標準保険料率等の設定
- ・市町村が行った保険給付の点検、事後調整
- ・市町村が担う事務の標準化、効率化、広域化を促進

なお、国の普通調整交付金については、都道府県間の所得水準を調整する役割を担うよう適切に見直す

改革後の国保の運営の在り方について（都道府県と市町村のそれぞれの役割）

改革の方向性		
1. 運営の在り方 (総論)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都道府県が、当該都道府県内の市町村とともに、国保の運営を担う ○ 都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度を安定化 ○ 都道府県が、都道府県内の<u>統一的な運営方針としての国保運営方針を示し、市町村が担う事務の効率化、標準化、広域化を推進</u> 	
	都道府県の主な役割	市町村の主な役割
2. 財政運営	財政運営の責任主体 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村ごとの国保事業費納付金を決定 ・ 財政安定化基金の設置・運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>国保事業費納付金を都道府県に納付</u>
3. 資格管理	国保運営方針に基づき、事務の効率化、標準化、広域化を推進 ※4. と5. も同様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民と身近な関係の中、資格を管理(被保険者証等の発行)
4. 保険料の決定 賦課・徴収	標準的な算定方法等により、 <u>市町村ごとの標準保険料率を算定・公表</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準保険料率等を参考に保険料率を決定 ・ 個々の事情に応じた賦課・徴収
5. 保険給付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給付に必要な費用を、全額、市町村に対して支払い ・ 市町村が行った保険給付の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>保険給付の決定</u> ・ 個々の事情に応じた窓口負担減免等
6. 保健事業	市町村に対し、必要な助言・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>被保険者の特性に応じたきめ細かい保健事業を実施</u> (データヘルス事業等)

